

## 地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、区民のみなさん、関係団体、行政等が協力して地域の中でお互いに支えあえる関係をつくることを目指す計画です。下の図のように、港南区全体の課題に対する取組、方向性を示す**全体計画**と地区ごとの特性や課題を踏まえた取組を示す**地区別計画**で構成されています。

### 第2期港南区地域福祉保健計画

- **基本理念** ● ふだんの暮らしをシェアに
- **目 標** ● 一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる

#### 全体計画

8つのテーマを定め、今後5年間の取組、方向性を示す。

#### 地区別計画

15地区の特性に応じた取組計画を策定

## 第2期計画の特徴

第2期計画と第1期計画の違いは、大きく三つあります。

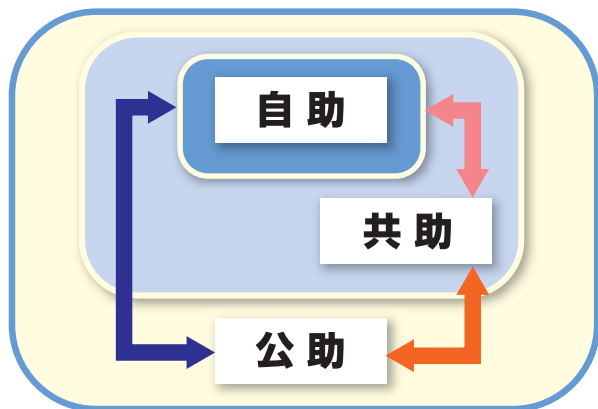
- ① 区の地域福祉保健計画と区社会福祉協議会の地域福祉活動計画の一体化
- ② すべての人を計画の主体とし、「誰が」、「どのような役割を期待されているか」、「どのような取組を進めていくか」などの役割分担を明確化
- ③ 15の連合町内会(地区社会福祉協議会)エリアで地区別計画を策定



## 目標達成に向けて

計画の目標である一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくるためには、一人ひとりの主体的な行動が求められます。自分で出来ることは自分でやる「自助」、隣近所など身近な地域で支えあう「共助」、行政が行う「公助」をうまく組み合わせることで、お互いに支えあえるまちをつくっていきましょう。

### 「自助」「共助」「公助」の考え方



**自助:** 本人やその家族が自分たちでできることは自分たちで取り組みましょう。さらに、日頃から地域とのつながりを持つことも大切です。このつながりが、共助に結びつきます。

**共助:** 本人や家族だけではできないことを、地域のつながりで支えます。

**公助:** 自助、共助でできないことを公的サービスや制度・仕組みの運用によって支えます。また、地域のつながりづくりを支援します。